



水と緑と太陽がいっぱい 庄内緑地 GREEN FITNESS PARK

GREEN FITNESS PARK

庄内緑地の概要

庄内緑地は、一般河川庄内川の小田井遊水地を利用した公園です。貯留遊水量は約140万㎡あります。140万㎡はナゴヤドーム9個分また25mプールの7,000個分に当たります。「水と緑と太陽」をテーマに整備しており、約40haを都市公園として整備されました。平常時には市民憩いの緑地として年間約110万人の来園者があり、洪水時にはダムや堤防とともに洪水から街を守る2つの顔を持った施設です。庄内緑地グリーンプラザは核となる施設として、

建設省(現国土交通省)の「第4次都市公園等整備5カ年計画」におけるグリーン・フィットネス・パーク構想のモデルとして、全国に先がけて事業化されました。緑豊かな環境の中で自然とふれあいながら健康運動ができる室内広場と、温室や緑の講習会、展示会などの緑化普及啓発機能を併せ持つユニークな複合施設として、1986年(昭和61年)4月に開設され、市民の健康の維持・増進施設及び緑化の普及・啓発施設として親しまれています。



魅力的な施設

プラザ管理棟・南館イベント会場

管理棟には、展示コーナー、図書コーナー、貸書室、事務室、組合トイレ(身障者対応)、エレベーターがあり、緑の教室や地元の土産と花の講習会や園芸が楽しめる緑化の啓蒙・推進事業を開催しています。平成25年度実績は56講座7回開催、展示会は回数を合わせて43回、来場者数は16万9千名となりました。南館イベント会場には多目的ホールがあり、健康運動施設として中級気功を開催、イベント開催時には、みどりの教室や親子工作教室などや展示会場、コンサート会場、講習会や植物教室等として利用しています。



ドッグラン

市営としては名古屋市内で唯一のドッグラン。ドッグランポランティアが運営、利用に当たっては、同ポランティアが施設にて指導・サポートしています。施設:大800㎡×小300㎡×2カ所。利用時間:午前8時から夕方まで。



ピクニック広場

ピクニック広場は、バーベキューが無料で午前9時から午後5時まで楽しめます。予約スペースとフリースペースを併せ持つ広場です。



芝生広場

35,000㎡(約4ha)の広さを有する市内有数の大芝生広場で、春は男女問わずお花見の日に利用されている庄内緑地の中心的なスポット。芝生広場中央にはシンボルツリーとしてアカギの大木が植栽されており、樹齢は約100年。満足度の高い緑地、小中学校も多く平成25年度は15,000人以上(保護者・司馬含む)が来園しました。



バラ園

市内最大規模のバラ園で、約1,000品種のバラを基本とし、4,000㎡の敷地に、66種類2,500株のバラが5月～11月に楽しめます。



ハナショウブ園及び周辺

3,900㎡を有する敷地に、87種、約1,000株のハナショウブが植えられた市内有数のハナショウブ園。敷地内のハナショウブには子供安全下駄が安全対策にも配慮しています。



大噴水周辺

大噴水(120m)は、4月～11月の間で、0時～16時まで様々なターンの水が出、子供が水遊びの場にも多くの家族連れで賑わっています。公園整備会を始めとする地域住民のフジコア活動の場ともなっています。



地域に愛される憩いの場としての役割



カブセミも飛来、鑑賞

名古屋初!

ヘキサスロン Mizuno

①理念→なぜヘキサスロンを開発するにいったか?
 ・ミスノとして子ども達の運動嫌い、体力低下はスポーツ離れに繋がります。スポーツビジネスに携わっている我々としては無視できない課題です。本業である物販の新たなマーケット拡大という視点とともに、スポーツを通じて社会に貢献するという企業理念にたって開発に至りました。
 ・近年子ども達の体力、運動能力低下が懸念され、本来発達段階で身につくべき能力が身につかない子供が多く見られます。
 ・これによって、よく転び、転びときに手がつけず顔面を打つ、ボールが受けられずに顔面に当たったりケガをするなど、ケガをする子供が増えています。
 ・運動量も30年前半に比べると約半分程度減少し、運動不足は否めません。
 ・子供のうちから運動習慣や生活習慣病予防意識が醸成されている、といったことにも関わっており、運動、外遊びの習得が難しく、時間、場所、仲間が減少しているといった社会的背景もあります。
 ・ミスノができることとして、モノだけでなく場所とプログラム、サービスをトータルで提供することで少しでも問題解決の一助となればという思いで開発に至りました。最終的には、ミスノ関連施設だけが場所に関与するため、今後、幼稚園、学校、自治体などへの展開を考えています。

②種目→なぜ6種目なのか? なぜこの種目になったのか?
 運動の基本動作である、走・投・跳、特に近年運動能力低下の懸念、経験をしにくいと発達しない「投」動作を重視。「投」動作についても「エアロケット」投げはボール投げのより全身を使った投げ方、「エアロディスク」は体のひねりを使った投げ方でラケットスポーツや野球の「バット」動作にもつながる動作、ソフトハンマー投げは前できなかった無身体を受けることで体とハンマーの動きを同調させるなどのタイミングの取り方などを身につけるなどのそれぞれに合った目的の3種目としました。また、測定自体を目的としているわけではないので、やってみるような用具、種目としました。

③他の同様のキットとの優位性
 ・用具面に関しては、安全性を考慮した素材・設計となっています。単なる玩具ではなく、やわらかい素材でありながらも、飛距離もできるように設計されています。他社で行っている体力測定用測定するだけのものが多いですが、ヘキサスロンは測定して得る、不得意を克服し一定時間運動プログラムを実施し測定し、能力向上を確実な運動プログラム実施...と取り組んでいく中で運動能力向上につけていくという測定と運動プログラムが「パッケージ」となったものである点で異なります。現在のヘキサスロンはあくまでも基本セットとして考えており、別売オプション品を販売しながら「走る」「跳ぶ」「投げる」以外の動作が盛り込まれるように遊びプログラムの開発も進めていくつもりで進めています。



